

平成25年度 事業報告（4月～3月）

I. 法人運営事業

1. 理事会の開催

(1) 第5回理事会（平成25年6月3日）

（議案）

- ・平成24年度 事業報告（案）について
- ・平成24年度 決算報告書（案）について
- ・第2回定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- ・評議員候補者について
- ・諸規定の制定について
- ・助成事業の決定について

(2) 第6回理事会（平成25年11月19日）

（議案）

- ・諸規定の一部改正について

（報告事項）

- ・平成25年度事業報告（4月～10月）

(3) 第7回理事会（平成26年3月18日）

（議案）

- ・平成26年度 社会福祉助成事業の決定について
- ・社会福祉助成事業（公募以外）の決定について
- ・平成26年度 事業計画（案）について
- ・平成26年度 予算（案）について
- ・基本財産・公益事業基金の計算方法の変更について

（報告事項）

- ・平成25年度事業報告（11月～3月）

2. 監査の実施（平成25年5月29日）

（監査事項）

- ・平成24年度 事業報告
- ・平成24年度 決算報告書（案）

3. 評議員会の開催

第2回定時評議員会（平成25年6月25日）

（議案）

- ・平成24年度 事業報告について
- ・平成24年度 決算報告書（案）について
- ・評議員の選任について
- ・諸規程の制定について

（報告事項）

- ・助成事業の決定について

II. 社会福祉助成・支援事業

1. 社会福祉関係者に係る研修・研究事業に対する助成

（1）社会福祉助成事業（公募助成：平成26年度実施予定）

1) 公募のスキーム

- ・本会ホームページに実施要綱公開（7月）
- ・都道府県・指定都市・市区町村社協への協力（広報・推薦）依頼（9月）
- ・福祉新聞への掲載（11月）

2) 応募状況

- ・応募件数：94件
- ・申請総額：3,804万円

3) 選考経過

①予備選考会

- ・日時 平成26年2月4日 10時～13時
- ・出席者 松下 社会福祉専門官
大西 障害児支援専門官
- ・会場 東海大学校友会館 『有明の間』

②選考委員会

- ・日時 平成26年2月21日 10時30分～13時
- ・委員 炭谷 茂氏、上村 一氏、大江 尚樹氏、
河 幹夫氏、川井 一心氏、森山 弘毅氏
- ・会場 東海大学校友会館 『相模の間』

4) 選考結果

- ・助成件数：49件
- ・助成額：1,828万円

(2) 社会福祉助成事業（公募助成以外：平成25年度実施）

- | | |
|------------------------|------|
| ①老人福祉施設巡回訪問事業『虹のキャラバン』 | 50万円 |
| ②『Dari-Kuching』発行・発送事業 | 30万円 |
| ③『障害者の明日への主張』作文（都身連） | 20万円 |

(3) 平成25年度 助成事業の視察

- ①第51回全国知的障害福祉関係職員研究大会（新潟大会）（9/4）
- ②NPO 法人 介護保険市民オンブズマン機構大阪（大阪）（9/12）
- ③NPO 法人 シビルブレイン（大阪）（9/13）
- ④IFC02013 世界大会（全国里親会）（9/13）
- ⑤神奈川工科大学 KWR 空飛ぶ車いす事業視察（11/20）
- ⑥第1回静岡市計画相談オリンピック（1/25）

2. 社会福祉に関する諸活動に対する支援及び助成

(1) 介護福祉士 資格取得支援事業（チャレンジ!! 介護福祉士）

1) 介護福祉士資格取得のための受験対策講習会への支援

①助成金交付（各県一律30万円）

岩手県社会福祉協議会、秋田県社会福祉協議会、福島県社会福祉協議会
山梨県社会福祉協議会、佐賀県社会福祉協議会、長崎県社会福祉協議会

②受講者への本会オリジナル教材支援（615セット）

- ・模擬問題と解説集（マークシート付）
- ・過去問題と解説集

2) 自宅学習者への支援

本会オリジナル教材の有償頒布（1セット4,000円）

- ・本会ホームページにて自宅学習者への広報展開
- ・専用チラシにて都道府県・指定都市・市区町村社協へ広報展開

3) 提携6県社協へのアンケート調査実施（平成26年1月）

①アンケート内容

- ・平成26年度受験対策講習会の実施予定（法改正前）について
- ・平成27年度以降（法改正を睨んだ）の開催予定について
- ・本会『模擬問題・過去問セット』の活用方法等の情報収集

②アンケートの目的

介護福祉士を目指す受講生にとっては、実務者研修の義務付けは1年延長の見込であるが、法改正を目前に控えた受験となり、また6県社協にとっても受験対策講習会のあり方を見直す機会となり、本会としては情報収集と連携強化に努め、働きながら資格取得を目指す方々への積極的支援を図る。

(2) アジア福祉助成

1) 全国社会福祉協議会との連携・推薦事業への福祉助成

全社協福祉研修の修了生が帰国後実施する福祉事業への助成

- | | |
|----------------------------|------|
| ①スアン・デック障害児発達財団 (タイ) | 30万円 |
| ②シェアリング・ラブ・グループ (タイ) | 30万円 |
| ③タイピン・コミュニティサービス協会 (マレーシア) | 30万円 |
| ④ヤヤサン・ウサハ・ムリア (インドネシア) | 30万円 |
| ⑤ケスマ財団 (インドネシア) | 30万円 |

2) アジア社会福祉事業視察の実施

上記修了生が母国で実施する社会福祉事業の視察

①スリランカ

- ・訪問先 サハナサラナ財団他
- ・期 間 平成25年7月7日～11日
- ・訪問者 平方評議員・居関監事・遠藤理事
- ・内 容 ア) 車いす贈呈式
イ) 車いす直接配布 (カルタラ～キャンディ間の福祉施設他)
ウ) リッチモンド・カースル (児童養護施設) の視察及び当該施設長からスリランカの社会福祉事情の聴取

②台湾

- ・訪問先 台湾児童家庭扶助基金会・台北仁濟安老所
- ・期 間 平成26年2月20日～23日
- ・訪問者 高岡評議員・熊本評議員・森井常務理事
- ・内 容 ア) ノーパンクタイヤ購入先企業 (優台公司) の視察
イ) 全社協社会福祉研修修了生とのMTG

(3) 東北復興車いす支援

1) 三陸復興 車いす支援 (現地整備活動: 『空飛ぶ車いす、東北に行く!!』)

- ・期 間 平成25年5月2日～5日
- ・実 施 神奈川工科大学、新潟医療福祉大学
- ・協 力 女川町役場、女川町社会福祉協議会、(公財) 日本社会福祉弘済会
- ・活 動 車いす修理、整備 (タイヤ交換・ベアリング交換・錆落とし他)

2) 三陸復興 車いす修理交流会

①神奈川県 車いす修理交流会

- ・日 時 平成25年6月22日
- ・実 施 大森学園高校、神奈川工科大学、(公財) 日本社会福祉弘済会
- ・場 所 大森学園高校体育館

- ・参加 大森学園高校在校生、PTA、近隣中学校、一般ボランティア、新潟医療福祉大学 FWS、蔵前工業高校など150人
 - ・活動 車いす修理、整備（タイヤ交換・ベアリング交換・錆落とし他）
- ②岩手県 車いすフレンズ修理講習会
- ・日時 平成25年6月24日 10:30～15:30
 - ・実施 岩手県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター、東日本福祉機器商会、(公財)日本社会福祉弘済会
 - ・場所 盛岡市総合福祉センター
 - ・参加 盛岡工業高校、黒沢尻工業高校、水沢工業高校、一関工業高校、大船渡東高校、釜石商工高校、宮古工業高校、岩手大学工学部社会環境工学科、神奈川工科大学、盛岡市社協、北上市社協、岩手県社協
 - ・活動 車いす修理、整備（タイヤ交換・ベアリング交換・錆落とし他）

3. アジア等の障害者への車いす修繕・寄贈等に対する支援・助成

(1) 車いす修理ボランティア活動への支援

1) 車いすタイヤ、工具、部品などの購入支援

- ①ノーパンクタイヤの一括購入（優台有限公司、曾我商会）
- ②修理備品購入支援（錆落としクリーナー・ベアリング等）

2) 国内修理講習会の開催支援

修理技術の向上と修理活動の促進のための支援

①高校生・大学生合同修理会（新潟）

- ・日時 平成25年8月8日 10:50～16:30
- ・実施 新潟医療福祉大学、新潟工業高校、神奈川工科大学
- ・場所 新潟医療福祉大学 第5研究棟
- ・活動 車いす点検・修理・整備（タイへ）

②コロンビア・セネガルに届け！『空飛ぶ車いす修理交流会』

- ・日時 平成25年10月20日 10:00～16:00
- ・場所 神奈川工科大学
- ・参加 大森学園高校、北豊島工業高校、神奈川工科大学他
- ・活動 車いす点検、修理、整備（タイヤ交換他）、梱包

③高校生・大学生合同修理会（東京）

- ・日時 平成25年11月24日 9:30～15:30
- ・実施 神奈川工科大学、北豊島工業高校、蔵前工業高校
- ・場所 北豊島工業高校
- ・活動 車いす点検・修理・整備（セネガル・コロンビアへ）

④大学生合同車いす修理会

- ・日 時 平成24年12月1日 9:30～16:00
- ・実 施 神奈川工科大学、新潟医療福祉大学
- ・場 所 新潟医療福祉大学
- ・活 動 車いす修理・整備 (スリランカ・韓国へ)

3) 海外修理講習会の開催支援

現地の修理技術向上を目指して、工具・部品などの提供と講習会を開催

①『空飛ぶ車いす in Thailand』

- ・期 間 平成25年8月23日～28日
- ・場 所 タイ・バンコク
- ・参 加 神奈川工科大学 KWR、新潟医療福祉大学 FWS、新潟工業高校
浮羽工業高校 (福岡)、秋田県社協、一般ボランティア
釜山障害者総合福祉館、台湾研修生連盟 (総勢51名)
- ・協 力 ホルトサハタイ財団
- ・活 動 ア) 国内作業 ⇒車いすの点検、梱包の徹底実施
イ) 現地作業 ⇒車いすの点検、修理、梱包、配送、贈呈
- ・寄贈先 ア) ホルトサハタイ財団
イ) カンチャナブリ Makarak Hospital
ウ) パトゥンタニ県労災リハビリセンター

②『空飛ぶ車いす IN 韓国・2013』

- ・期 間 平成25年12月26日～30日
- ・場 所 ソウル・釜山
- ・参 加 秋田県社会福祉協議会、由利工業高校
神奈川工科大学、新潟医療福祉大学
- ・活 動 修理、利用児家庭訪問

(2) 車いす輸送支援 (アジア障害者支援)

1) 車いす輸送実績

平成25年4～3月輸送実績 : 541台

- ・旅行者等のボランティア (航空手荷物) : 153台
- ・コンテナ船輸送 : 388台

2) 車いす国内配送・海外輸送支援

①国内配送費の支援 (修理工業学校⇔空港間など)

国内配送の協力依頼 <日通航空 (特別料金の適用) >

②海外輸送費の支援

各航空会社への協力依頼

- 3) 書損じはがき収集の促進
専用リーフレット送付による広報展開
 - ・都道府県・指定都市・市区町村社協への広報展開
 - ・本会ホームページによる広報展開

4. 広報事業

- (1) ホームページによる情報公開、更新
 - 1) 平成25年度 事業計画の更新 (4月)
 - 2) ウェルフェア50号 (日社済ニュース) 掲載 (5月)
 - 3) 平成24年度 決算関係資料、事業報告の更新 (7月)
 - 4) 社会福祉助成事業 実施要綱の公開 (7月)
 - 5) 介護福祉士資格取得支援事業の更新 (8月)
 - 6) ウェルフェア51号 (日社済ニュース) 掲載 (8月)
 - 7) 平成24年度社会福祉助成事業の事業完了報告書掲載 (10月)
 - 8) ウェルフェア52号 (日社済ニュース) 掲載 (1月)
 - 9) 平成26年度助成金申請書、新ロゴマーク掲載 (3月)

- (2) 広報誌の発行
 - 1) ウェルフェア50号 (日社済ニュース)
 - ①平成25年度 社会福祉助成事業の助成先決定
 - ②『福祉最前線』 (日社済事業成果報告集より)
 - ・NPO 法人 日本プラダダー・ウィーリー症候群協会
 - ・社会福祉法人 草津町社会福祉協議会
 - ③『チャレンジ!! 介護福祉士』 提携6県社協での取り組み紹介
 - ④『20歳の実感』 成人の日 書損じはがき収集ボランティアの紹介
 - ・山形市教育委員会 (平成25年成人式実行委員会)
 - ・荒川区教育委員会 (同上)
 - ・鹿児島県日置市 (同上)
 - ⑤『空飛ぶ車いす』 現代社会副読本 (高校) に掲載! 他
 - 2) ウェルフェア51号 (日社済ニュース)
 - ①『空飛ぶ車いす、海を渡る!』 ~スリランカ報告
 - ②『福祉最前線』 (日社済事業成果報告集より)
 - ・もっと優しい旅への勉強会 (東京都世田谷区)
 - ③平成26年度 社会福祉助成事業実施要綱の告知
 - ④『チャレンジ!! 介護福祉士』 の告知
 - ⑤『空飛ぶ車いす』 英語副読本 (高校) に掲載! 他

- 3) ウェルフェア52号(日社済ニュース)の発行
 - ①障害保健福祉施策の動向(厚生労働省 障害児支援専門官 大西延英氏)
～障害児支援の強化を中心として～
 - ②空飛ぶ車いすプロジェクト・タイレポート
 - ③『セネガル共和国』への車いす寄贈
～アフリカに届け! 空飛ぶ車いす～
- 4) ウェルフェア各号(日社済ニュース)の配布
 - ①県・指定都市社会福祉協議会、市区町村社会福祉協議会
 - ②本会会員施設、助成金交付施設 他

(3) 日社済広報用資料の製作

- 1) イメージ広告用デザインの製作(ホームページ他)
- 2) ロゴマークデザインの製作

Ⅲ. 社会福祉関係者の共済に係る事業

1. 団体保険料収納事業

ジブラルタ生命保険株式会社と提携して、社会福祉法人などの福祉関係法人、社会福祉施設及び関係団体(以下『会員』という)に勤務する役職員、構成員及びその家族を対象に『団体扱個人保険』を取扱い、日社済『福祉の共済事業』として位置づけ保険料収納事業を実施した。

2. 会員施設サービス事業

(1) ライフサポートクラブ

会員施設の役職員とその家族向けに福利厚生サービスを会員価格で利用できる制度を提供した。

(2) 福祉図書などの割引

会員施設の役職員への福祉図書などの割引斡旋制度を実施。

(3) 福祉会員応援制度の収束

残余年数分の一括清算 74施設(1,538千円)